

EVENTS ~ 5月のイベント情報

わくわく館 ☎ 01456-2-3048
 予定表の上段が午前、下段が午後の行事となります

月	火	水	木	金	土
1 開放 開放	2 開放 開放	3 憲法記念日 休館日	4 みどりの日 休館日	5 こどもの日 休館日	6 開放 開放
8 開放 開放	9 開放・身測 開放	10 コロチューバー・ハムハム ウル寅	11 開放 開放	12 開放 小さい・大きいありさん	13 開放 開放
15 開放 開放	16 開放 開放	17 ミルクィー・ティガーファーム ウル寅	18 子育て講座 開放	19 ひよこさん 開放	20 開放 開放
22 開放 開放	23 開放・身測 開放	24 ウル寅 コロチューバー・ハムハム	25 開放 開放	26 きりんさん 母親教室	27 開放 開放
29 開放 開放	30 開放 開放	31 ミルクィー・ティガーファーム 新規枠			

利用時間 相談： 9:00~17:00
 広場開放： 10:00~12:00、13:30~16:30

・わくわく通信・行事予定表が日高町ホームページに掲載されています。
 「日高町ホームページ」→「ライフインデックス 出産・子育て」
 →「関連リンク わくわく館・わくわく通信」



◎毎週水曜日はサークル開放日です。
 ◎金曜日の年齢別カリキュラムは専有です。各年齢、発達段階に合った遊びをします。
 ・「小さいありさん：寝てる子」
 ・「大きいありさん：ハイハイ」
 ・「ひよこさん：よちよち歩き」
 ・「きりんさん：走れる子～就学前」
 どこに参加したらよいのか分からない場合は、スタッフにご相談ください。
 ◎今月は、9日(火)、23日(火)が身体測定の日です。
 ◎5月の子育て講座は、元町立保育所所長 菊地 亮子さんによる「親子リズム遊び」です。
 開場9:30~ 開始10:00~
 人数把握のため17日(木)までに申し込みをお願いします。
 ◎11:30、16:00にわらべ歌や体操、読み聞かせなどを行っています。お気軽にご参加ください。
 ◎6月18日(日)父の日に向けてカード制作期間を設けます。都合の良い時に是非作りに来て下さい。
 5月29日(月)~6月17日(土)
 わくわく広場開放時間内

とみかわ児童館 ☎ 01456-2-3044
 開館時間 9時~17時

11日(木) 母の日工作会
 12日(金) ぬりえのひ
 18日(木) キラキラちゃれんじ
 19日(金) カミであそぼう
 25日(木) カレンダーづくり
 26日(金) スーパーじどうくらぶ
 31日(水) とねっこおはなし会
休館日 毎週日曜日、祝日

もんべつ児童館 ☎ 01456-2-5522
 開館時間 9時~17時

11日(木) わくわくちゃれんじ
 12日(金) ははの日こうさく会
 17日(水) ニコニコわかばのおはなし会
 19日(金) カリンバを弾こう!!
 25日(木) わくわく映画館
 26日(金) カレンダーづくり
休館日 毎週日曜日、祝日

門別総合町民センター 開館時間 9時~21時
 (福祉センター・スポーツセンター)

〈福祉センター〉
 4月3日現在、予定の行事はありません。

〈スポーツセンター〉
 14日(日) 北海道テニポン交流会(予定)
 27日(土) 全日本小学生バレーボール大会日高予選(予定)
 28日(日) 全日高社会人卓球選手権大会(予定)
休館日 毎週月曜日

門別中央パークゴルフ場

28日(日) 日高町パークゴルフ協会
 春季協会杯大会(予定)

門別中央スポーツホール

4月3日現在、予定の行事はありません。

☎ 教育委員会社会教育課 施設管理グループ
 ☎ 01456-2-2451

シリーズ 災害に備える 第6回「避難行動要支援者について」

日高町防災ガイドマップから抜粋

避難行動要支援者について

高齢者・障がい者・乳幼児などのうち、災害時に自ら避難することが困難な方で特に支援を必要とする方を「避難行動要支援者」といいます。このような方々を災害から守るために、みなさんと協力しましょう。

！ 避難行動要支援者に安心と安全を

高齢者・寝たきりの方のために

日頃の備え

- 室内はできるだけ広くして、家具、棚の上に重い物、角のある物を置かない。

災害時には…

- あわてて外へ飛び出さない。
- 本震がおさまっても余震に備えて、家の中の安全な場所へ移動する。



↑ 介助のポイント

- 緊急の時はおぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。
- 不安を取り除くように声をかける。

耳が不自由な方のために

日頃の備え

- 日常から筆記用具を携帯しておく。

災害時には…

- メモなどで、正確な情報を周囲の人に聞く。



手話や点字などが通じないため、状況の把握が難しくなる場合がある。

↑ 介助のポイント

- 話をする時は口の開け方をハッキリとし、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

目が不自由な方のために

日頃の備え

- 白杖は必ず手の届く所に置いておく。
- 家具等の配置の変更は本人に必ず伝える。

災害時には…

- 災害発生時には笛などを吹き、居場所を知らせる。
- 周りの人に安全な場所までの誘導を依頼する。



よく知っている場所以外では、自力で災害に応じた行動が困難な場合がある。

↑ 介助のポイント

- 災害時には声をかけ、情報を伝える。
- 誘導する場合は杖を持った方の手には触れず、肘の辺りを軽く持ってもらい半歩前をゆっくり歩く。
- 方向や目の前の位置などは、時計の文字盤の位置を想定して伝える。

肢体が不自由な方のために

日頃の備え

- 室内の安全スペースの確保と、家具等の転倒防止策を十分に作る。

災害時には…

- 無理な行動をとることを避けながらも、頭部を産布団や手で守る。
- 車イスは安全な場所に止め、介助者の協力を求める。



からだを動かすことが困難なため、災害に対する的確な行動が制限される場合がある。

↑ 介助のポイント

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、おぶり紐などを利用し、おぶって避難する。

傷病のある方のために

日頃の備え

- 通院が不可能になった場合に備え、主治医のアドバイスを受けておく。
- 常備薬や特殊な治療の蓄えについてかかりつけの医療機関に相談する。

災害時には…

- かかりつけの医療機関の状況を確認する。
- 帰宅できない状況で、さしせまった治療の必要がある場合は、最寄りの医療機関が防災関係機関に相談する。



↑ 介助のポイント

- かかりつけの医療機関をはじめ、病院や救護所などの情報収集の手助けをする。